

次代へ繋ぐ、 未来へ繋ぐ

市議会3月定例会で、市長が新年度の市政運営の
考え方などを表明しました。その概要を紹介します。

一歩ずつ確実に歩みを
進めてきた昨年度

令和5年度は、持続可能なまち
づくりに向けて、一歩ずつ確実に
歩みを進めることができるよう、
「Step by Step」をキ
ャッチフリーズに、「持続可能都
市西条2050」の実現に向け、
二つの方針を柱に種々の施策を推
進してきました。

オームを生かしたまちづくりの基
本的な仕組みを構築し、「持続可
能都市西条2050」の実現に向
け、取り組んできました。

二つ目の「中長期的な展望を見
越した抜本的な経営改革への着
手」については、昨年8月、こ
も家庭庁を訪問し、出生時にお
ける手続きのDX化を紹介した。
この取り組みは、これまで複数の
窓口を訪れ、何枚もの申請用紙へ
の記入が必要だった出生時の手続
きを、タブレット端末を使い一つ
の窓口で完結させるもので、出産
直後の保護者の負担軽減、当市が
目指す「SDGs×DX」の推進
につながたいと考えています。

以上の施策に加え、「災害に強
いまちづくり」を目指して、防災
対応力の向上にも努めます。今後
30年以内に高い確率で発生が予想
される南海トラフ巨大地震や全国
で頻発・激甚化している自然災害、
新型コロナウイルスをはじめとす
る大規模感染などあらゆる危機事
象に対応できるよう、積極的に防
災・減災対策に取り組みます。

これまでの取り組みの集大成

令和6年の干支は、「甲辰^{きのえたつ}」で
す。「甲」は物事の始まり、成長
を意味し、「辰」はいろいろなも
のが整って勢が増す、活気づく

という意味があります。この組み
合わせから、物事が芽吹き、姿を
整え、成長して縁起の良い年にな
るといわれています。種をまき、
水をやり、堆肥をまいて、これま
で育ててきた施策・事業を成長さ
せ、花を咲かせることができるよ
う、令和6年度は「次代に繋ぐ、
未来へ繋ぐ」を市政のキャッチフ
リーズとして掲げ、「持続可能都
市西条2050」の実現に向けて、
覚悟を持って各種施策に取り組ん
でいきます。



主要事業

①～⑦の分野で令和6年度に行う主な事業を紹介します

①福祉

医療体制の充実

医療関係者と行政が当市の地
域医療における課題意識を共
有し、克服すべき課題となる
医師や救急医療体制の確保・
医療の質の向上を目指します。



救急出動件数は年々増加中

①福祉

子育て環境の充実

令和6年度から子ども医療費
の無償化の対象を、中学3年
生から高校生世代まで拡大。
子どもの健康維持と子育て世
帯の負担軽減を図ります。



高校生世代まで医療費が無償に

①福祉

健康づくりの推進

がん患者やその家族が安心し
て日常生活を送れるよう、西
条市がん対策推進条例を基に、
総合的かつ一体的ながん対策
を推進します。



市民健康講座でがんの予防啓発

②自然共生

水資源の保全

地下水の将来ビジョンや目標
の達成を念頭に置き、地下水
の調査やモニタリングなどの
活動を実施し、地下水の保全
や適正な管理に努めます。



西条市地下水保全協議会を開催

①福祉

子育て環境の充実

紙おむつの定額利用（サブス
クリプション）サービス導入
施設への一部助成や地域人材
の活用など、保育士の働きや
すい職場環境を整備します。



保護者や保育士の負担を軽減

①福祉

福祉の充実

高血圧症などの重症化リスク
の高い方に対し、保健指導な
ど予防プログラムの新たな実
施により、健康増進および介
護予防に取り組めます。



保健・介護予防を一体的に実施

①健やかに生き生きと暮らせる 福祉のまちづくり

令和6年度の予算編成は、引き続
き歳入水準に見合った歳出構造への
転換に向けた「歳出改革」に取り組
む一方で、「持続可能なまち西条」
の実現に向けた各種施策について、
積極的な予算措置を行いました。

- ▼緊急性のある施設や備品の修繕お
よび改修を順次実施
- ▼公営プールを含めた全体的な体育
施設の縮充を検討
- ▼障がい者が自立した日常生活を送
れる環境づくりに努める
- ▼木に親しめる子育て環境の整備
- ▼産前産後ヘルパー派遣事業につい
て、子どもの対象年齢などの拡充
や若年出産世帯への育児用品購入
の補助を実施

②豊かな自然と共生するまちづくり

- ▼環境保全のため、合併処理浄化槽
設置費などの補助を拡充
- ▼地域の脱炭素化に向けて、「ゼロ
カーボンシティ」（2050年ま
でに二酸化炭素排出量実質ゼロ）
を目指し、さまざまな施策を推進
- ▼雨水ポンプ場や幹線水路の整備な
ど中心市街地の浸水対策を実施



西条市長
玉井敏久

7 構想実現

協働のまちづくり
の推進

地域課題の解決へのチャレンジを応援しあえるまちの実現のため、西条市版ローカルファンドの推進を図ります。



専門家を招きセミナーを開催

6 産業振興

西条の価値や魅力の向上

合併20周年記念事業として、市民参加型のイベント開催や積極的なメディア活用により、認知度の向上、まちへの愛着や誇りの醸成を図ります。



大使に就任したティモンディ

6 産業振興

企業活動の活性化・
新規産業の創出

設備投資や人材確保など、経営課題解決に向けた支援で「稼ぐ力」を強化し、持続的な成長・発展を目指します。



高校2年生対象就職フェア

5 教育文化

学校教育の充実

指導者用デジタル教科書の更新や一部小中学校における水泳授業の民間指導モデル委託など、将来の新たな学習環境構築に向けた事業を進めます。



子どもたちに豊かな教育を

5 教育文化

学校教育の充実

グローバル化が急速に進展する中で、「生きた英語」の習得を目指し、指導経験を有するALTを増員し、児童生徒の英語力の向上を図ります。



民間からのALT派遣を導入予定

3 都市基盤

交通体系の整備

西条市地域公共交通計画に基づき、既存の交通体系の見直しを行い、10月からの西部地域のバス路線再編に伴う代替交通の導入を進めます。



持続可能な交通体系を目指して

7 構想実現

時代の変化に対応した
地域づくり

友好都市である中国・保定市やベトナム・フエ市関係者との市民交流を予定。地域における多文化共生を推進します。



昨年4月にはフエ市を訪問

7 構想実現

地域自治の推進

山積する地域課題の解決に取り組むため、協働によるまちづくりを推進し、地域の状況に応じて地域自治組織設立に向けた支援を行います。



地域住民が主役のまちづくり

6 産業振興

観光産業の創出

いしづちエリアにおける独自の滞在コンテンツと観光客をマッチングさせるプラットフォームを構築し、交流人口や関係人口の拡大につなげます。



新たな観光コンテンツを創出

6 産業振興

林業の振興

小学生を対象とした木育および育水教育に関するタブレット用学習教材を作成・活用し、子どもたちの森林や林業への関心を高めます。



小学生に森林環境教育を実施

5 教育文化

学校教育の充実

より安全安心な学校給食の提供のため、PFI事業による「(仮称)東部給食センター」の来年9月からの供用開始に向け、本体工事に着手します。



西条地域12校の学校給食を調理

4 安全安心

防災・減災対策の強化

能登半島地震被災地の支援の知見を生かし、「誰一人取り残さない防災」の実現を目指し、当市の実情に即した防災訓練・啓発に取り組みます。



能登半島地震による被害

- ▼ 3 快適な都市基盤のまちづくり
今後の人口減少を見据え、集約型都市構造の形成に向けた方向性を明確に示し、「西条市都市計画マスタープラン」の見直しを実施
過去に浸水被害があった地区から選定した重点地区を対象に、排水施設の改修や整備を実施
大雨などによる氾濫被害や土砂流出の危険性が高い河川を対象に、護岸などの改修を実施
- ▼ 4 災害に強く安全で安心して暮らせるまちづくり
施設の機能強化と集約化のため、消防団拠点施設の更新整備を実施し、地域の消防力および防災力の充実強化を図る
- ▼ 5 豊かな心を育む教育文化のまちづくり
小松小学校校舎の長寿命化整備の完了と、当初となる小学校と社会教育施設の複合化を予定している神戸小学校校舎の改修に向けた準備を進める
「人権問題に関する市民意識調査」を実施し、市民の皆さんとともに人権文化の根付いた明るく住みよいまちの実現を目指す
- ▼ 6 活力あふれる産業振興のまちづくり
農地の効果が増進され、事業効果の上がる農業用施設に対して、新設・改良を実施
長年の降雨や経年による老朽化が見られる施設に対し、機能診断を行い、長寿命化対策を実施
次世代へ豊かな森林資源を受け継ぐため、森林整備の方向性を示した「(仮称)西条市森林ビジョン」の策定に向けて検討を進める
事業者の新商品の開発支援やこれまで培ったノウハウを活用した台湾展開など、農商工連携や西条ブランドの構築・推進を図る
- ▼ 7 構想の実現に向けて
令和8年度からの市役所庁舎本館（昭和53年建築）の長寿命化工事に向け、長寿命化基本計画を策定
西条市DX推進戦略に基づき、市民目線から行政の在り方を再設計するため、デジタル技術を効果的に活用し、業務効率化や市民サービス向上につなげる
合併後からの当市の主な行政実績などを収録した「市政二十年のあゆみ（仮称）」の刊行に向け、編さん業務に取り組む